

## イギリス医師会年次総会について

1. 出張期間 : 令和元年 6 月 24 日 (月) ~27 日 (木)

2. 出張先 : ベルファスト、北アイルランド (イギリス)

3. 出張者 : 道永常任理事

随行 : 能登国際課長

4. 内 容 :

2019年イギリス医師会年次総会が6月23日から27日を会期として北アイルランドのベルファストで開催され、横倉会長への招待に応じ、道永常任理事が日本医師会役員、世界医師会理事会副議長として出席した。

24日には、海外賓客の夕食会が行われ、本会の他、WMAからエイデルマン会長（イスラエル医師会前会長）、モントゴメリー理事会議長（ドイツ医師会前会長）、アイルランド、アメリカ、カナダ、オーストラリア、オランダ、ガーナ、スリランカ、中国、マレーシア、マルタ、ナイジェリア、トリニダード・トバコ各医師会からの参加があった。

25日の総会式典では、新会長にインペリアル・カレッジ・ロンドン医の倫理の名誉教授である Raanan Gillon 教授が就任した。Gillon 教授は、イギリス医師会に50年以上加入し、医の倫理委員会、Journal of Medical Ethics の編集、国際委員会、欧州常設委員会 BMA 代表を務めてきた。同教授は就任挨拶で、WMA の医の倫理に関する「ジュネーブ宣言改訂」（2017年10月）に触れ、時代に即した改訂と評価すると共に“fairness”（公平性）という言葉を加えたいとの意向を示した。さらに、現在 WMA で改訂作業中の「医の倫理国際綱領」にも言及するなど、WMA に対する関心を示したことが特徴的であった。式典において海外賓客が個々に紹介され、日本医師会代表として道永常任理事が壇上で新会長に挨拶をした。